

「田辺圏域医療と介護の連携を進める会」
第45回(通算第124回)定例会 会議録

日 時：令和2年9月15日(火) PM7:10~8:20
場 所：田辺市民総合センター 1F 機能訓練室
出席者： 24 名

別紙のとおり

1. 「田辺圏域医療と介護の連携を進める会」定例会について

【19:10~20:20】

19:10~ 開 会

19:10~20:00

研 修

「コロナ禍における口腔ケア」

講師：初山歯科医院

歯科医師

初山 昌平氏

20:00~20:20

質疑応答

意見交換なし

20:20

閉 会

【研修内容】

講義内容(概要)

- ・ある特別養護老人ホームにおける口腔ケアの効果
口腔ケア群と対照群を比較すると、“発熱発生”“肺炎発症数”“肺炎による死亡者数”に差がある。口腔ケアをすることで減少させることができる。
インフルエンザも発症を減らせる。
- ・要介護の前にフレイル(からだの虚弱)、フレイルの前に「口の崩壊」がある。
- ・フレイルの自己診断
体重の減少、歩行速度の低下、握力の低下、疲れやすい、身体の活動性の低下
3つ以上当てはまればフレイルの状態
- ・ポ リ ス ッ ト
健康飲料ではない。悲惨なカリエスの増加
スポーツドリンクはおいしさ優先。と言うことは甘い
甘さを抑えるために水で薄めると電解質は濃度不足に。

- ・むし歯は細菌感染
無菌状態ではむし歯にはならない。
子供のむし歯をなくすのは、母親の治療から。
歯周病も。
口腔内細菌叢は若い時期（20歳前後）に完成される
- ・抜歯の主要原因
抜歯原因の第一位は歯周病。二位はむし歯
規則正しい生活が歯周病を防ぐ。
- ・歯周病を放置すると全身の病気に
歯周病と血管系の病気、心内膜炎、低体重児出産、糖尿病、誤嚥性肺炎などに影響する
- ・歯周病は糖尿病の第6番目の合併症
糖尿病に罹患している人は歯周病になりやすい。進行しやすい。
コントロール不良だと歯周病が進行するリスクが高まる
歯周病の治療をしないで放置すると、血糖のコントロールが悪化
歯周病をコントロールすることで、HbA1cも下がる
- ・歯科検診で歯は残る、歯科検診で医科医療費が下がる、歯科検診で健康寿命が延びる

質問

- ・OS-1とか乳酸菌飲料と歯の関係は？
OS-1はポカリスエットとは別物で、脱水には効果がある。乳酸菌飲料は確実に歯にはよくない
飲むのはいいけど、そのあと口腔内を清潔にしたほうがいい
- ・ミカンや黒酢で歯が溶けると聞くと・・・
酸しょく歯。酸で溶ける。歯は再生しない
- ・口から食べない人の方がより口腔ケアが必要
歯のない人もうがいとするとか、舌みがきも大切。経管栄養の人は口腔が汚くなる。食べている人の方が唾液の自浄作用できれいになる。だから、口腔ケアが重要
- ・口腔うがい液は有効か？
気休めみたいなもの。しないよりはマシ。
- ・歯列矯正について
きれいに並んでいないと自浄作用の効果が少ない。
できるならやった方がいい。でもするなら、専門医にかかること。
明らかに歯がイゴイゴのひとは矯正することで人生が変わる。
歯並びの悪い人の方が歯周病やむし歯になりやすい。

定例会開催にあたっての感染症対策

- ・体調確認と非接触型温度計による体温測定
- ・手指消毒
- ・マスク着用
- ・定例会後の机、いすの消毒
- ・換気

【次回の定例会】

以下の日程で実施する。

- 日時**：令和2年10月20日（火） 午後7時～
- 場所**：田辺市民総合センター 1F 機能訓練室
- 内容**：権利擁護センターたなべについて